

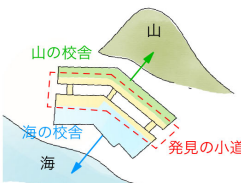
01. 瀬戸内町ならではの
山と海から導き出される学びの場
/地域に愛される小学校

瀬戸内町の市街地にあり、三方を山に囲まれ、マリンブルーの大島海峡を望む景勝の地にあるという立地の特性から、シンプルに導き出される建築配置の発想により、ここにしかない小学校を提案します。



02. 「山の校舎」「海の校舎」「発見の小道」 / シンプルな配置計画
(既存校舎) (新校舎+屋内運動場)

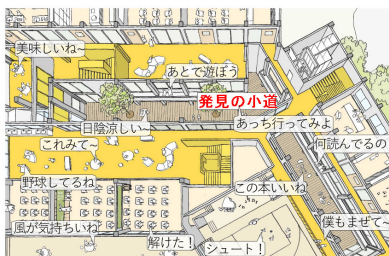
既存校舎と平行に新校舎と屋内運動場を配置し、山側の既存校舎を「**山の校舎**」、海側新校舎と新屋内運動場を「**海の校舎**」とします。山の校舎と海の校舎の廊下はお互いに中庭を介して視覚的連続性が上にある3つのブリッジで連結し「**発見の小道**」としコンパクトで機能的かつ発見に満ちた動線計画とします。



03. 様々なモノやコト、人と出会い、実際にしてみる
という「**発見の小道**」/児童の移動円滑化。新しい時代の学び

学校内の様々なモノやコト、人と出会い、見て、実際にしてみるという発見を、教室や多目的スペース、特別教室のみならず、屋内運動場や中庭も連結した廊下（動線計画）とすることで「発見の小道」をつくります。

これにより、古仁屋小学校の十二訓の一つ目、「物事や見慣れ しい慣れ」（どんなことでも、見たり、実際にしてみたりして上達していくものです。失敗を恐れずに行ってみることが大切です。）を体現する学校建築とつくることを目指し、同時に「新しい時代の学びを実現する」ことに繋がると考えます。



04. 誰もが安心安全に利用することのできる配置計画

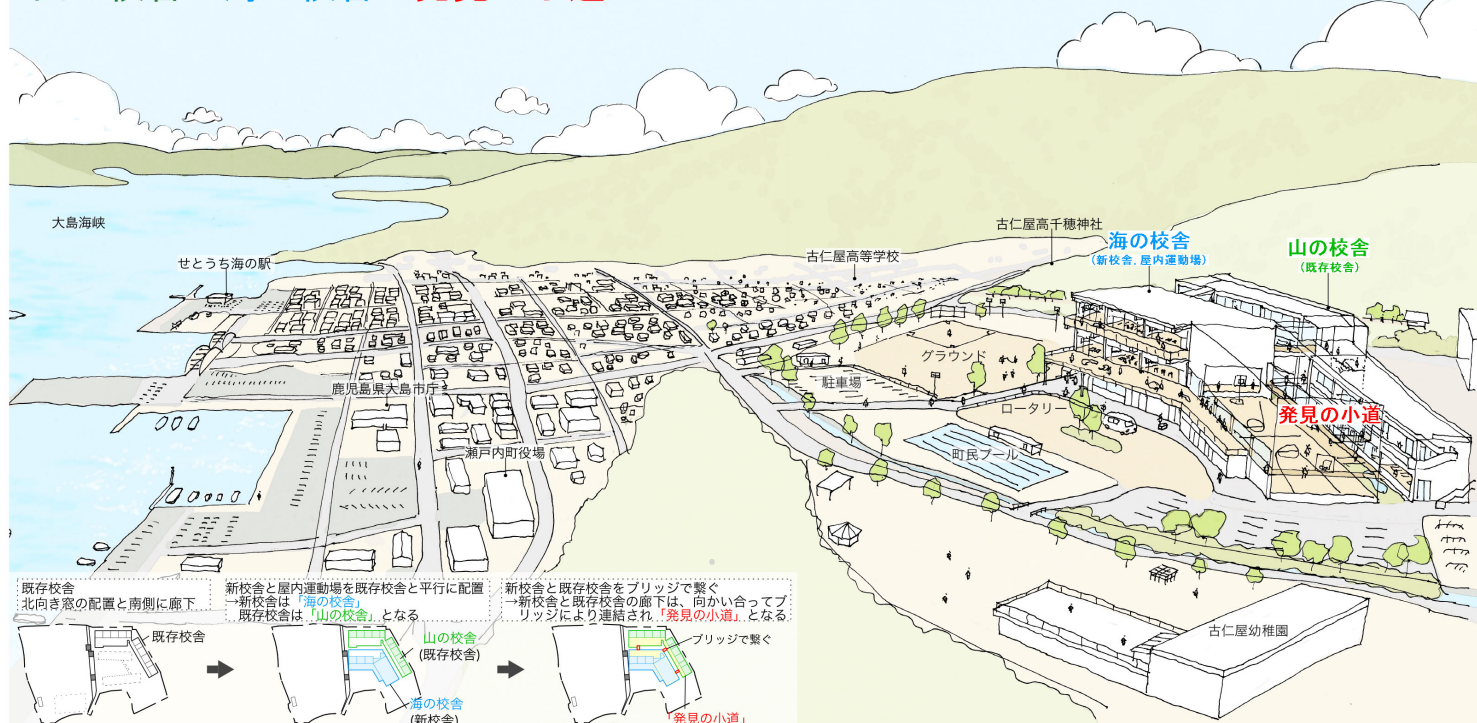
既存校舎と平行に新校舎と屋内運動場を配置し、コンパクトで機能的な配置・動線計画とし、建築面積を抑えコスト削減に寄与します。

新校舎の南側に余白が生まれ、車両用ロータリーを設けることで、配膳車両や救急車両が入りやすく、かつ明確に歩車分離した安心安全に利用できる小学校をつくります。



古仁屋小学校

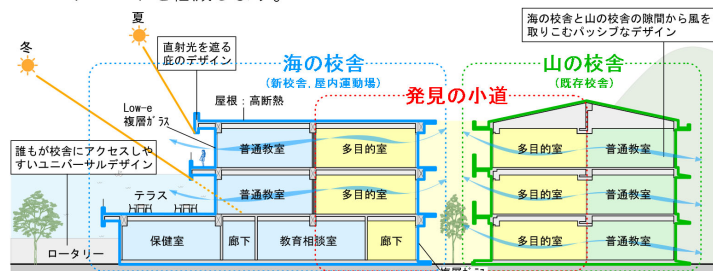
山の校舎・海の校舎・発見の小道



05. 瀬戸内町の豊かな環境特性を生かした断面計画

／ 持続可能でパッシブな環境・設備計画

南側窓に庇を設け直射光を制御、新校舎と既存校舎の両方に自然風を取りこむことができるパッシブでサステナブルな提案とします。これにより空調期間を抑え、教室や職員諸室には全熱交換機を設置し、空調設備の負荷を軽減しランニングコストを低減します。



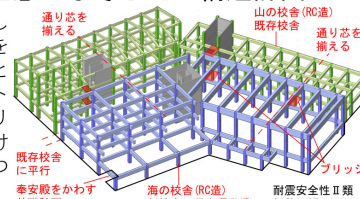
06. 地域開放するみんなの学校 災害時は地域の防災拠点

既存校舎の昇降口をそのまま生かし、新校舎の昇降口も隣接させ、町道からの動線を校内にスムーズに繋げます。昇降口付近に地域開放用多目的室を設け、地域開放しやすい計画とします。またグラウンドからの高低差を新たなスロープで繋ぎ、バリアフリートレイルを1F昇降口前につくことで災害時にもわかりやすい機能的、安心安全な計画とします。



07. 「強く正しく美しい」教育理念になぞらえた構造計画

古仁屋小学校の教育理念「強く正しく美しく」を、建物の構造計画で体现することを提案します。新校舎の構造は、既存校舎と並行かつ通芯を合わせた鉄筋コンクリート造とします。新校舎と既存校舎を繋ぐブリッジは工期終盤にエキスパンション取付け工法とし、既存校舎に負荷をかけず、かつ工期に配慮した計画とします。



08. 仮設校舎不要としコスト減の計画

既存校舎に解体予定の校舎の諸室を入れ、来年度の教室数を右図の計画(応相談)とし、仮設校舎不要としコスト減を提案します。

令和7年度生徒数/クラス数予想	3F	階段	多目的	階段	多目的
1年生 35～45人 1クラス		普通	普通	普通	普通
2年生 48人 2クラス		普通	普通	普通	普通
3年生 40人 1クラス		階段	多目的	家庭	5年 1年 3年
4年生 46人 2クラス	2F	普通	普通	階段	多目的
5年生 33人 1クラス		普通	普通	普通	自治
6年生 46人 2クラス	1F	普通	多目的	2年	2年 校長 職員
		普通	多目的	階段	多目的

09. 工事期間中の学校運営と周辺への影響に配慮した施工計画

児童の登下校時の安全性、仮設費用の低減に配慮します。仮設校舎不要で工事期間中もグラウンドと屋内運動場を利用可能な施工計画とします。

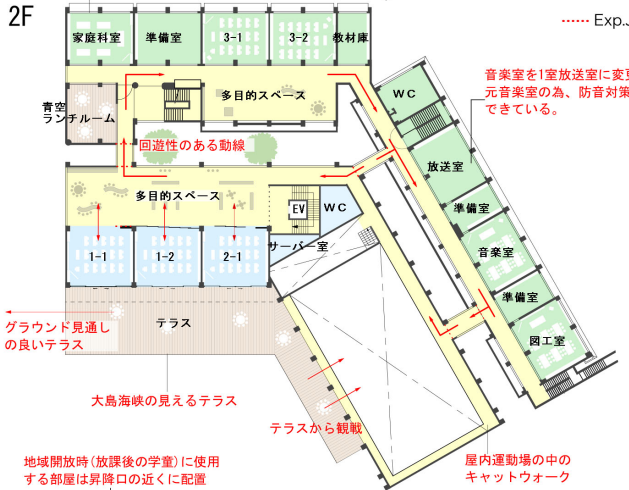
Figure 1 consists of four diagrams illustrating the construction site layout for the four construction phases. Each diagram shows the existing school building (in red) and the temporary construction site (in blue). The diagrams are labeled with the construction phase and the corresponding construction work.

- Phase 1 (R7.12-R8.3):** Existing school building and temporary construction site. The diagram shows the existing school building and the temporary construction site. The construction work is labeled as "既存校舎解体" (Existing school building demolition) and "仮設階段設置" (Temporary staircase installation).
- Phase 2 (R8.4-R9.7):** New school building and temporary construction site. The diagram shows the new school building and the temporary construction site. The construction work is labeled as "新校舎、屋内運動場建設工事" (New school building, indoor sports field construction work).
- Phase 3 (R9.7-R9.8):** Existing school building and temporary construction site. The diagram shows the existing school building and the temporary construction site. The construction work is labeled as "既存校舎一部改修" (Existing school building partial renovation) and "校舎を繋ぐブリッジ、中庭工事" (Bridge connecting the school building, courtyard work).
- Phase 4 (R9.9-R10.5):** Existing school building and temporary construction site. The diagram shows the existing school building and the temporary construction site. The construction work is labeled as "既存屋内運動場、新駐車場" (Existing indoor sports field, new parking lot) and "解体工事" (Demolition work).

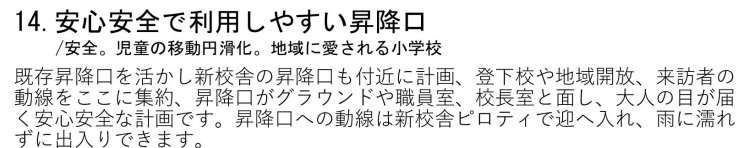
／児童の移動円滑化。大人の目が行届く。新しい時代の学び

山の校舎(既存校舎)は山に面した特性とし、窓から山を見て、内装に木を貼ります。海の校舎(新校舎)は海に面した特性とし、窓から市街地と海を見て内装に珪藻土を使います。奄美の湿気の季節の湿度対策にもなります。

海の教室と山の教室の隙間部分には、面する教室の特徴を持つ3種類の上履き利用できる庭を設けます。既存校舎の理科室、図書室、多目的室を使用する際に部屋を拡張して使用することもできる空間です。

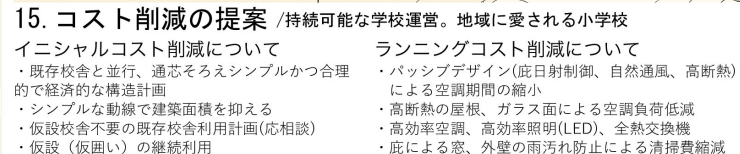
 $2F$ 

少子化による児童数の減少や、ICTを活用した授業形態の変化に柔軟に対応することのできる間仕切りを提案します。普通教室間の間仕切りを動かし3教室を一体的に利用することできる他、普通教室と多目的室との間を6本レールの引戸とし仕切り方式を高い自由で変更することができます。



/安全。児童の移動円滑化。地域に愛される小学校。

既存昇降口を活かし新校舎の昇降口も付近に計画、登下校や地域開放、来訪者の動線をここに集約、昇降口がグラウンドや職員室、校長室と面し、大人の目が届く安心安全な計画です。昇降口への動線は新校舎ピロティで迎へ入れ、雨に濡れずに出入りできます。



イニシャルコスト削減について ・既存校舎と並行、通ひそろえシンプルかつ合理的で経済的な構造計画 ・シンプルな動線で建築面積を抑える ・仮設校舎不要の既存校舎利用計画(応相談) ・仮設(仮用い)の継続利用	ランニングコスト削減について ・バップデザイン(庇日射制御、自然通風、高断熱)による空調期間の縮小 ・高断熱の屋根、ガラス面による空調負荷低減 ・高効率空調、高効率照明(LED)、全熱交換機 ・底による窓、外壁の雨汚水防止による清掃費削減
--	--

児童数の減少により新築校舎に教室が移動になった場合や、小学校を取り巻く環境の変化にも対応できるよう、柔軟に可変できる建築を提案します。屋根防水は10年保証、防水改修時の施工も容易な計画とし、外壁はRCの上合浸表面強化防汚仕上げ、シンプルなRCラーメン構造躯体、シンプルな設備により、将来のメンテナンスが容易な計画とし、無理のない持続可能な建築をつくりくります。

基本設計・実施設計の必要な場面において、ワークショップや丁寧な説明・意見聴取の場を設けるなど、理解の醸成に努めます。打合せ・WSなど現地での仕事頻度が密な期間は担当スタッフが定期開催（1-3週間程度）常駐するなど柔軟に対応します。地域のみなさまから愛着を持ってもらえる小学校を駐ります。